

平成16年度第1回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日 時：平成16年6月25日（金） 午後3時から午後5時まで

場 所：名古屋第一赤十字病院 第6会議室

委員

出席者：浅井委員、安藤委員、石川委員、石田委員、一木委員、犬塚委員、岩田委員、岡田（節）委員、可世木委員、
小山委員、榊原委員、柴田委員、高橋委員、寺澤委員、戸苅委員（代理）、成田委員、二村委員、松澤委員、
森川委員、山崎委員

欠席者：岡田（純）委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課長、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）、
名古屋市健康福祉局健康部主幹（医務指導）、
名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長、名古屋第一赤十字病院第二産婦人科副部長

欠席者：

司会者：名古屋第一赤十字病院第二小児科副部長

議 長：安藤委員

1 犬塚技監あいさつ

2 会長・副会長選出

会長 安藤委員、副会長 成田委員

安藤会長あいさつ

成田副会長あいさつ

3 議事

1 平成16年度愛知県周産期医療情報システム

<システム更改のポイント>

1 専門相談入力 of 簡易化

* 選択方式（マウスのみ）で入力、ただし備考欄は手入力をする。

* 入力項目の簡素化をする。

* 情報のコピーが容易となる作りにする。

* 修正が簡単に行えるようにする。

2 応需情報系

* 入力・照会・モニター機能を同一画面にして操作性を向上し、一画面で完結できるようにする。

* 条件つきで受入れ可能施設も参加して入力すれば搬送するのにお互いに利用できるのでは。

* 実施するのであればアンケートをする必要がある。

3 統計系の強化

* 他地域への搬送状況など必要な分析が可能な統計帳票を追加する。

* ホームページの利用状況など把握できるような統計帳票を追加する。

4 システム管理系業務の強化

* パスワード発給がWEB画面で簡単にできるようにする。

* 参加施設を増やし、どういう施設が参加しているか管理しやすくする。

5 取扱い情報の見直し

* バックトランスファー登録を廃止し、同様の入力形式の相談件数入力業務を追加する。

<システム構成>

* 現行 ISDN網で利用した分料金がかかる。

* 新 フレッツISDN網で定額料金、ただしFAXは利用した分料金がかかり各病院負担になる。

- * 救急システムと共有し費用の削減をする。
- * 二重化・予備機を含めたサーバ構成である。
- * 24時間システムを監視することができる。

<ドメイン案について>

- * 案1 現行システムを利用する。
- * 案2 愛知県のサブドメインを新規に申請・登録する。
- * 案3 広域災害・救急医療情報システムのドメインを利用する。
- * 案4 独自のドメインを取得する。

- * 平成16年10月1日にシステムを更改します。
- * ADSL・Bフレッツは2回線必要で予算の関係上無理です。
- * システムは将来変更可能か。
- * 6年リースなのでその後変更可能です。
- * 管理面を考えてドメイン案3がいいと思いますが。
- * ドメイン案2が周産期医療は高度で専門的な医療を行うということからよいのでは。
- * ドメイン案2が進めますが、事務手続き上不都合が生じた場合は案3になるかもしれません。
- * メール転送は半永久的か。
- * 現行システムをいつまで稼働するかによりますが、1ヵ月くらいを考えています。
- * メールアドレスを変えずにはできないか。
- * 技術的に難しいです。
- * メールアドレス変更の周知をお願いします。
- * ドメインは8月末から9月上旬に新しい名前でホームページにアクセスできる環境を作ります。
- * メールアドレスは9月中旬に端末を設置して現行端末の情報を移行し新メールアドレスの利用を開始します。
- * 現行アドレスに届いたメールを新アドレスに届くように転送設定します。
- * 旧URLにアクセスすると新システムに転送されるように設定します。
- * 周産期センター以外で病状に応じて受入れ可能な施設に参加してもらえないか。
- * どういう施設に参加してもらうかルールを作る必要があります。
- * プロセスと結果を重視する時代であり、周産期医療全体のレベルをあげていくことが大切です。

2 平成16年度愛知県周産期医療専門相談事業の事業計画について

- * 例年同様に各施設持ち回りで実施します。
- * 予算は12万です。
- * 重ならないように早めの開催をお願いします。
- * 日程・内容が決まりましたら事務局まで連絡をお願いします。
- * 予定として7月17日(土)海南病院、11月23日(祝)豊橋市民病院です。

3 平成16年度愛知県周産期医療調査・研究事業の事業計画について

- * 今年度は3テーマを予定しています。
- * <医療法人格医会 可世木病院 可世木成明>
これからの産科医療～オープン・セミオープンシステム～について
 - * 現時点で愛知県は遅れていて、全国の半数がオープンシステムに取り組んでいる。
 - * 数十年のうちにシステムを変えていく必要があると認識しています。
 - * オープン・セミオープンシステムについてどういう形で行うか模索中です。
 - * 実際にどうしたらいいのか、どの程度可能かを調査研究します。
- * <あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久>
地域周産期医療施設の子育て支援に対する取り組み
 - 特に助産師・看護師の役割について -
 - * 目的は地域の一般医療機関・助産施設等における子育て支援への取り組みを明らかにする。
 - * 調査対象は地域医療施設等に勤務する助産師・看護師です。

* 調査内容は各施設における助産師・看護師の母支援の状況等、地域の保健機関との連携状況等の各項目に関するアンケートを行います。

* <名古屋大学医学部周産母子センター 板倉淳夫>

愛知県下における多胎の周産期医療に及ぼしている実態に関する調査・研究

* 多胎が周産期医療に影響を及ぼしていると認識をしている。

* 周産期施設で多胎がNICU・PICUでどのように管理されているか実態を調査・研究します。

* 3テーマを承認しますので調査・研究をよろしく願います。

4 平成16年度愛知県周産期医療研修事業の事業計画について

* 研修会

* 平成16年9月25日(土)栄ガスビルにて開催します。

* <あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久>

低出生体重児の地域療育利用に関する実態と問題点に関する調査

* <名古屋第一赤十字病院 古橋円>

愛知県下における母体搬送応需状況の実態調査

* 講演会

* 平成16年秋以降に名古屋で開催を予定しています。

* 講師候補として

* <大阪府立母子保健総合医療センター 末原則幸>

多胎妊娠の現状と問題点

* <京都大学大学院教育学研究科 山田洋子>

言葉以前の赤ちゃんのこぼ

* <神奈川県立こども医療センター 川滝元良>

胎児診断、心奇形を中心に

* <富山医科薬科大学 齋藤滋>

周産期とサイトカイン

* 平成16年度の調査・研究事業と関係しているため、末原則幸さんをお願いしたいかがでしょうか。

5 平成15年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告について

* <あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久>

低出生体重児の地域療育利用に関する実態と問題点に関する調査

* 調査目的は早期療養の利用、医療機関と療育機関との連携方法等の具体的な対応方法について考察する。

* 医師から通園施設への紹介は少ない傾向を認める。

* 病院リハビリ部門が対象とする疾患は運動障害が最も多いが、通園施設では万遍なく対応が行われている。

* 病院と通園施設等との連携は十分ではなく今後の改善が望まれる。

* 未熟児を扱う療育施設のマップを作成し医師に配布します、医療機関と療育機関の連携に利用してください。

* <名古屋第一赤十字病院 古橋円>

愛知県下における母体搬送応需状況の実態調査

* 母体搬送応需状況を前方視的に検討し、問題点を明らかにする。

* 調査結果より周産期医療協議会のシステムは概ね機能していると判断できるが問題点も明らかになった。

* NICUの問題があげられる。

* 再搬送されている症例があげられる。

* 現在の情報システムの問題があげられる。

* 依頼した病院と依頼された病院の間での依頼や応対に対しての問題があげられる。

* 受入れ可否状況の更新がこまめにされていないので、緊急の母体搬送の際に役立たない。

* 詳細は資料 3 2を参照してください。

6 報告事項

愛知県周産期母子医療センターの現況について

* 昨年同様NICUの体重別受入れ状況の調査をします。

- * N I C Uの定義と調査用紙を併せて送りますので回答をよろしくをお願いします。
- * 総合・地域周産期母子医療センターの現況は資料 4を参照してください。
- 名古屋第一赤十字病院 総合周産期母子医療センター 平成15年度総括について
- * 資料 5を参照してください。

7 その他

特定不妊治療助成について

- * 平成16年7月1日から受付を開始します。
- * 詳細は資料 6を参照してください。
- 愛知県周産期医療協議会委員の旅費支給内規(案)について
- * 現行は愛知県を4つの地域に分けて交通費を定額支給している。
- * (案)は交通費を勤務地(最寄駅)から名古屋第一赤十字病院(中村日赤)まで全額支給する。(公共交通機関使用に限る)
- * 承認します、平成16年7月1日改定します。

- * システム入力状況の格差がありますが最近の状況はどうか。
- * 入力傾向はあまり変わりありません。
- * 入力が簡易化されるが格差は解消されますか。
- * 応需状況の未更新施設名を全施設一斉にメール配信しますので該当施設は更新をお願いします。(週1度配信)
- * 未更新施設はメールを見ないと思うので、県児童家庭課に何か対策を考えてもらいたい。
- * 資料 3 1 6の療育支援を必要とする家庭に関する情報提供窓口をホームページに載せたいと考えています。
- * 事務局に提案ですが医療機関 保健機関連絡票を紙ではなくインターネットでダウンロードして取り出せるようにしたらどうか。(複写になっているのでコピーを取って対応)
- * 電子情報にした方がより広まるのでは。
- * 日本産科婦人科学会から、周産期関係の医療事故を報告してもらい分析しますので協力をお願いします。(プライバシー遵守)
- * 対策を練り場合によっては教育をしてリピーターをなくしたい。
- * 助産所でのお産が根強い人気で上向きになっている。
- * 助産所のレベルアップをしたいので周産期協議会主催の勉強会に参加する機会が欲しい。
- * 専門相談講演会開催の時、各医療圏の助産施設・助産師会に案内を出しています。
- * 周産期医療協議会に助産所もオブザーバーとして参加できないか。
- * 次回は平成16年11月26日(金)に第2回周産期医療協議会を開催します。